

令和5年度

認知症について考える市民セミナー

「本人が語る認知症」

～みんなが暮らしやすい
まちを考える～

定員
400名



当事者の思いに耳を傾けてみてください。
そこには、あなたにできることが必ずあります。

日時 令和5年9月25日 午後2時～午後4時
(開場:午後1時30分)

場所 山形テルサ 3階 アプローチ
(山形市双葉町1-2-3)

内容

●講演『ひと足先に認知症になった、 わたしからのメッセージ』

講師 さとう みき氏

プロフィール

東京都武蔵野市在住。ひとり息子は生後3.4ヶ月健診で成長の遅れを指摘され、2歳で発達障害の診断を受ける。不安の中で体調を崩したが、子どもの成長とともに少しずつ回復の兆しが見えはじめた43歳のとき、若年性アルツハイマー型認知症との診断を受ける。認知症と向き合い、葛藤する日々を経て、現在はデイサービスで勤務しながら、認知症当事者同士のサポート活動ほか、各地で講演会などの普及啓発活動をおこなう。2022年12月に岩波書店より「認知症のわたしから、10代のあなたへ」を出版。



●実践報告

認知症になっても暮らしやすいまちについて山形市で活躍されている方々に
様々な視点からお話しいただきます。



申込み

電話又はFAXで氏名、ふりがな、年齢、住所、電話番号を長寿支援課へ

申込み・お問い合わせ

山形市長寿支援課 予防推進係(裏面のFAX送信票をご活用ください。)

TEL 023-641-1212(内線599・567・568) FAX 023-624-8398

